

専門ゼミA		演習	教授 小関 広洋	
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の必修科目		科目ナンバリング	21300301

1. テーマ

「業界研究と企業分析」…業界研究と企業分析の基礎と応用力を身につける。

2. ゼミのねらい・概要

企業とビジネスを理解し評価するためには、さまざまな観点から分析・考察を行う必要がある。その基本的な手法として、①業界構造の分析、②企業の財務分析、③経営戦略を含む総合的な企業評価と企業価値の算定などがある。ゼミでは、これらに関する基礎知識を身につけ、ケーススタディを通じて実際に応用する力を養う。就職活動における企業研究、社会人として必要な業務知識、投資に役立つ知識など、さまざまな場面で活用するための基礎づくりを目標とする。前期の「専門ゼミA」では、業界研究・企業分析の基礎を学んだ後、業界研究のケーススタディとして、製造業（自動車メーカーなど）・建設業・各種サービス業・販売業など、国内外の幅広い業界の構造を分析する。なお、後期の「専門ゼミB」では、個別企業の分析と、4年次の卒業研究に向けた個人研究の準備を行う。また、ゼミではグループディスカッション・プレゼンテーション・レポートや論文作成などについても、実践を通じたスキル向上を図る。

3. ゼミ計画

ゼミ計画は概ね以下のとおりとし、ゼミメンバーの問題意識や関心・興味等を見極めながら適宜調整を図る。

1. ガイダンス（自己紹介、ゼミの進め方など）	9. グループ研究（業界分析①）
2. 講義とディスカッション（企業分析の目的と方法）	10. プレゼンテーションと討論（業界分析①）
3. 講義とディスカッション（業界研究の方法）	11. グループ研究（業界分析②グローバル企業）
4. 講義とディスカッション（財務分析の基礎）	12. グループ研究（業界分析②）
5. 講義とディスカッション（損益分岐点分析）	13. プレゼンテーションと討論（業界分析②）
6. 講義とディスカッション（企業評価と企業価値算定）	14. 業界研究と企業分析について—まとめ
7. グループ研究の準備・テーマ選定	15. 前期の研究成果の振り返りと後期の課題
8. グループ研究（業界分析①国内企業）	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

①講義のテーマについて、文献やインターネット等を活用して情報収集し、ディスカッションに積極的に参加できるよう準備する、②他のグループや個人の研究分野についても情報収集を行い、ディスカッションや討論に積極的に参加できるように準備する、③グループ・ワークで各自が担当する分野について情報収集と分析を行い、研究発表に貢献できるように準備する、などの学修が必要である。なお、①と②には週2時間以上、③についてはメンバーとの議論を含め、より長い時間をあてる必要がある。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

グループ研究およびディスカッションの進め方や内容について、その都度アドバイスする。また、プレゼンテーションについては、個別に講評（内容の評価、今後の課題などについてコメント）する。

6. ゼミにおける学修の到達目標

業界・企業分析の基本を習得し、プレゼンテーションやディスカッションに活かすことができること。4年次の卒業研究をまとめる土台作りと同時に、就職活動などにも役立てることができること。

7. 成績評価の方法・基準

グループワークやディスカッションを通じたゼミへの取り組み姿勢と貢献度（50%）、提出物と研究発表の内容（50%）によって総合的に評価する。

8. テキスト・参考文献

研究テーマに必要な文献などを個別に指示・配布する。

9. 受講上の留意事項

業界・企業情報の収集や分析に興味を持ち、ゼミに積極的に参加していく姿勢が重要である。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本ゼミは、金融機関・信用格付け・アセットマネジメントにおける実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。